## 教育・保育の量の見込みと確保方策の見直しについて

第2期和泉市こども・子育で応援プランのP97から記載されている、教育・保育の量の見込みと確保方策について、計画策定時(令和元年度)に見込んだ、確保方策の内容に一部変更が生じております。

大阪府への変更協議が必要になることから、当該事業計画における確保方策 を修正するものです。

#### <修正理由>

確保方策の内容に変更が生じているため修正します。

北部地域において、私立幼稚園(確認を受けない幼稚園)であった鶴山台国際 幼稚園と鶴山台明徳幼稚園が、どちらも令和3年4月より幼保連携型認定こども園に移行し2・3号児童の受入を始める予定となっています。また、中部地域において、特定教育・保育施設(認定こども園)である光明台幼稚園が定員変更し、2・3号児童の受入を増やし、1号児童の定員を減らす予定となっています。

# ○教育・保育の量の見込みと確保方策 【現行】

### ■市全体の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

											_		
			令和2	年度			令和3	年度			令和4:	年度	
市全体		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号	1号	2号	3.	号
( <del>)                                     </del>		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:ノ	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量		2,491	2,249	1,404	210	2,402	2,183	1,424	204	2,335	2,144	1,451	199
確保方策計		2,850	2,290	1,362	320	<u>2,795</u>	<u>2,467</u>	<u>1,456</u>	<u>332</u>	<u>2,795</u>	<u>2,467</u>	<u>1,456</u>	<u>332</u>
特定教育•保 育(保育所•			2,290	1,119	310	<u>1,616</u>	2,467	<u>1,197</u>	<u>322</u>	<u>1,616</u>	<u>2,467</u>	<u>1,197</u>	<u>322</u>
認定こども 園)	市外	80	0	0	0	80	0	0	0	80	0	Ο	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	222	0	0	0	<u>238</u>	Ο	0	0	<u>238</u>	Ο
確認を受け	市内	678	0	0	0	<u>678</u>	0	0	0	<u>678</u>	0	0	Ο
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	Ο	421	0	Ο	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	域枠)	0	0	8	4	0	0	8	4	0	0	8	4
2-1	)	359	41	∆42	110	<u>393</u>	<u>284</u>	<u>32</u>	<u>128</u>	<u>460</u>	<u>323</u>	<u>5</u>	<u>133</u>

注1)確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。

注2) 円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことで  $\mathbf{r}$ 

			令和5	年度			令和6	年度	
市全体		1号	2号	3	号	1号	2号	3+	号
( >><		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	()	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必要	要性あり
利用見込量	1	2,290	2,126	1,463	194	2,251	2,116	1,444	190
確保方策計	2	<u>2,795</u>	<u>2,467</u>	<u>1,456</u>	<u>332</u>	<u>2,795</u>	<u>2,467</u>	<u>1,456</u>	<u>332</u>
特定教育・保 育(保育所・	ואחו	<u>1,616</u>	<u>2,467</u>	<u>1,197</u>	<u>322</u>	<u>1,616</u>	<u>2,467</u>	<u>1,197</u>	<u>322</u>
認定こども 園)	市外	80	0	0	Ο	80	0	0	0
円滑化の流	5用	0	0	<u>238</u>	Ο	0	0	<u>238</u>	0
確認を受け	市内	<u>678</u>	0	0	Ο	<u>678</u>	0	0	Ο
ない幼稚園	市外	421	0	0	Ο	421	0	0	0
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	業主導型(地域枠) O O 8 4 O O		8	4					
2-1		<u>505</u>	<u>341</u>	<u>∆7</u>	<u>138</u>	<u>544</u>	<u>351</u>	<u>12</u>	<u>142</u>

# ■北部地域の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

			令和2	2年度			令和3	年度			令和4:	年度	
北部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号	1号	2号	3	号
( <del>) } </del> .		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	469	441	287	48	447	437	285	46	425	433	283	44
確保方策計	_	645	570	337	71	<u>645</u>	<u>570</u>	<u>337</u>	<u>71</u>	<u>645</u>	<u>570</u>	<u>337</u>	<u>71</u>
特定教育・保 育(保育所・	市内	390	570	281	71	<u>390</u>	<u>570</u>	<u>281</u>	<u>71</u>	<u>390</u>	<u>570</u>	<u>281</u>	<u>71</u>
認定こども 園)	市外	6	0	0	0	6	0	0	0	6	0	0	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	56	0	0	0	<u>56</u>	0	0	0	<u>56</u>	Ο
確認を受け	市内	249	0	0	0	<u>249</u>	0	0	0	<u>249</u>	0	0	0
ない幼稚園	市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ο
企業主導型(地	域枠)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	Ο
2-1	)	176	129	50	23	<u>198</u>	<u>133</u>	<u>52</u>	<u>25</u>	<u>220</u>	<u>137</u>	<u>54</u>	<u>27</u>

注1)確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。

注2)円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことです。

			令和5	年度			令和63	年度	
北部		1号	2号	3	号	1号	2号	3	号
( <del>)                                     </del>		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	()	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	404	429	281	43	385	426	279	41
確保方策計	2	<u>645</u>	<u>570</u>	<u>337</u>	<u>71</u>	<u>645</u>	<u>570</u>	<u>337</u>	<u>71</u>
特定教育・保 育(保育所・	ואחו	<u>390</u>	<u>570</u>	<u>281</u>	<u>71</u>	<u>390</u>	<u>570</u>	<u>281</u>	<u>71</u>
認定こども 園)	市外	6	0	0	0	6	0	0	Ο
円滑化の流	拥	0	0	<u>56</u>	0	0	0	<u>56</u>	0
確認を受け	市内	<u>249</u>	0	0	0	<u>249</u>	0	0	Ο
ない幼稚園	市外	0	0	0	0	0	0	0	0
特定地域型保育	事業	0	0	0	0	0	0	0	Ο
企業主導型(地	域枠)	0	0	0	0	0	0	0	Ο
2-1		<u>241</u>	<u>141</u>	<u>56</u>	<u>28</u>	<u>260</u>	<u>144</u>	<u>58</u>	<u>30</u>

### ■中部地域の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

			令和2	2年度			令和3	年度			令和4:	年度	
中部		1号	2号	3	号	1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号
( <del>)                                   </del>		3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	()	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	1,401	1,035	704	97	1,386	1,033	726	95	1,370	1,031	749	93
確保方策計	_	1,494	1,053	638	153	<u>1,494</u>	<u>1,161</u>	<u>685</u>	153	<u>1,494</u>	<u>1,161</u>	<u>685</u>	153
	市内	1,012	1,053	518	145	<u>1,012</u>	<u>1,161</u>	<u>557</u>	145	<u>1,012</u>	<u>1,161</u>	<u>557</u>	145
認定こども 園)	市外	61	0	0	0	61	0	0	0	61	0	Ο	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	103	0	0	0	<u>111</u>	0	0	0	<u>111</u>	Ο
確認を受け	市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	Ο	421	0	0	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	地域枠)	0	0	4	2	0	0	4	2	0	0	4	2
2-1	)	93	18	△66	56	<u>108</u>	<u>128</u>	<u>∆41</u>	58	<u>124</u>	<u>130</u>	△64	60

注1)確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。

注2) 円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことです。

			令和5	年度			令和63	年度	
中部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号
( <b>)</b>		3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:ノ		教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必!	要性あり
利用見込量		1,355	1,029	773	91	1,340	1,027	766	90
確保方策計	12	<u>1,494</u>	<u>1,161</u>	<u>685</u>	153	<u>1,494</u>	<u>1,161</u>	<u>685</u>	153
特定教育・保 育(保育所・	四四	<u>1,012</u>	<u>1,161</u>	<u>557</u>	145	<u>1,012</u>	<u>1,161</u>	<u>557</u>	145
認定こども 園)	市外	61	0	0	0	61	0	0	Ο
円滑化の流	5用	0	0	<u>111</u>	0	0	0	<u>111</u>	0
確認を受け	市内	0	0	0	0	0	0	0	Ο
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	域枠)	0	0	4	2	0	0	0 4	
2-1	)	<u>139</u>	<u>132</u>	<u>∆88</u>	62	<u>154</u>	<u>134</u>	<u>∆81</u>	63



# 【修正(案)】

### ■市全体の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

			令和2	2年度			令和3	年度			令和4:	年度	
市全体		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号	1号	2号	3	号
( <del>)                                   </del>		3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	()	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必!	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量		2,491	2,249	1,404	210	2,402	2,183	1,424	204	2,335	2,144	1,451	199
確保方策計	_	2,850	2,290	1,362	320	<u>2,714</u>	<mark>2,632</mark>	<mark>1,506</mark>	<u>337</u>	<mark>2,714</mark>	<u>2,632</u>	<u>1,506</u>	<u>337</u>
特定教育・保 育(保育所・	L	1,671	2,290	1,119	310	<mark>1,729</mark>	<u>2,632</u>	<mark>1,239</mark>	<u>327</u>	<u>1,729</u>	<u>2,632</u>	<u>1,239</u>	<u>327</u>
認定こども 園)	市外	80	0	0	0	80	0	0	0	80	0	Ο	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	222	0	0	0	<u>246</u>	0	0	0	<u>246</u>	0
確認を受け	市内	678	0	0	0	<u>484</u>	0	0	0	<u>484</u>	0	0	0
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	Ο	421	0	Ο	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	地域枠)	0	0	8	4	0	0	8	4	0	0	8	4
2-1	)	359	41	△42	110	<u>312</u>	<u>449</u>	<u>82</u>	<u>133</u>	<u>379</u>	<u>488</u>	<u>55</u>	<u>138</u>

注1)確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。

注2) 円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことです。

			令和5	5年度			令和6年	年度	
市全体		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号
( ) \		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳
(単位:)	()	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	2,290	2,126	1,463	194	2,251	2,116	1,444	190
確保方策計	12	<u>2,714</u>	<u>2,632</u>	<u>1,506</u>	<u>337</u>	<u>2,714</u>	<u>2,632</u>	<u>1,506</u>	<u>337</u>
特定教育・保 育(保育所・	市内	<mark>1,729</mark>	<u>2,632</u>	<u>1,239</u>	<u>327</u>	<u>1,729</u>	<u>2,632</u>	<u>1,239</u>	<u>327</u>
認定こども 園)	市外	80	0	0	0	80	0	0	0
円滑化の流	5用	0	0	<u>246</u>	0	0	0	<u>246</u>	0
確認を受け	市内	<u>484</u>	0	0	0	<u>484</u>	0	0	0
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	0
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	域枠)	0	0	8	4	0	0	1,506 1,239 0 246 0	4
2-1	)	<u>424</u>	<u>506</u>	<u>43</u>	<u>143</u>	<u>463</u>	<u>516</u>	<u>62</u>	<u>147</u>

# ■北部地域の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

			令和2	2年度			令和3:	年度			令和4:	年度	
北部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号	1号	2号	3	号
		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必!	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	469	441	287	48	447	437	285	46	425	433	283	44
確保方策計	_	645	570	337	71	<u>586</u>	<u>720</u>	<u>379</u>	<mark>76</mark>	<u>586</u>	<mark>720</mark>	<u>379</u>	<mark>76</mark>
特定教育・保 育(保育所・	市内	390	570	281	71	<u>525</u>	<u>720</u>	<u>316</u>	<mark>76</mark>	<u>525</u>	<u>720</u>	<u>316</u>	<u>76</u>
認定こども 園)	市外	6	0	Ο	0	6	0	0	0	6	0	0	0
円滑化の流	舌用	0	0	56	0	0	0	<u>63</u>	0	0	0	<u>63</u>	0
確認を受け	市内	249	0	0	0	<u>55</u>	0	0	0	<u>55</u>	0	0	0
ない幼稚園	市外	0	0	0	0	0	0	0	Ο	0	0	0	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企業主導型(地	域枠)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2-1	)	176	129	50	23	<u>139</u>	<u>283</u>	<u>94</u>	<u>30</u>	<u>161</u>	<u>287</u>	<u>96</u>	<u>32</u>

注1)確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。

注2) 円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことです。

			令和5	5年度			令和6:	年度	
北部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	물
		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳
(単位:/	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	404	429	281	43	385	426	279	41
確保方策計	12	<u>586</u>	<u>720</u>	<u>379</u>	<mark>76</mark>	<u>586</u>	<u>720</u>	<u>379</u>	<u>76</u>
特定教育・保 育(保育所・	四四	<u>525</u>	<u>720</u>	<u>316</u>	<mark>76</mark>	<u>525</u>	<u>720</u>	<u>316</u>	<u>76</u>
認定こども 園)	市外	6	0	0	0	6	0	0	0
円滑化の流	手用	0	0	<u>63</u>	0	0	0	<u>63</u>	0
確認を受け	市内	<u>55</u>	0	0	0	<u>55</u>	0	0	0
ない幼稚園	市外	0	0	0	0	0	0	0	0
特定地域型保育	事業	0	0	0	0	0	0	0	0
企業主導型(地	域枠)	0	0	0	0	0	0 0		0
2-1	)	<u>182</u>	<u>291</u>	<u>98</u>	<u>33</u>	<u>201</u>	<u>294</u>	<u>100</u>	<u>35</u>

### ■中部地域の幼稚園・保育所・認定こども園の確保方策

			令和2	2年度			令和3	年度			令和4:	年度	
中部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号	1号	2号	3	号
(×1±.		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	O歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり
利用見込量	1	1,401	1,035	704	97	1,386	1,033	726	95	1,370	1,031	749	93
確保方策計		1,494	1,053	638	153	<u>1,472</u>	<u>1,176</u>	<u>693</u>	153	<u>1,472</u>	<mark>1,176</mark>	<u>693</u>	153
特定教育・保 育(保育所・	L	1,012	1,053	518	145	<u>990</u>	<u>1,176</u>	<u>564</u>	145	<u>990</u>	<u>1,176</u>	<u>564</u>	145
認定こども 園)	市外	61	0	0	0	61	0	0	0	61	0	0	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	103	0	0	0	<u>112</u>	Ο	0	0	<u>112</u>	0
確認を受け	市内	0	0	0	0	0	0	0	Ο	0	0	0	0
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	Ο	421	0	0	Ο
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	地域枠)	0	0	4	2	0	0	4	2	0	0	4	2
2-1	)	93	18	△66	56	<mark>86</mark>	<u>143</u>	<u>∆33</u>	58	<u>102</u>	<u>145</u>	<u>∆56</u>	60

注1) 確認を受けない幼稚園とは、子ども・子育て支援新制度に移行せず、現行制度のまま継続する幼稚園のことです。 注2) 円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことで

注2)円滑化の活用とは、教育・保育施設において、面積や職員配置の基準を順守しながら、定員の弾力的な運用を行うことです。

			令和5	年度			令和63	年度	
中部		1号	2号	3	号	1号	2号	3.	号
( <del>) }   </del> .		3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳	3~5歳	3~5歳	1~2歳	〇歳
(単位:)	<b>(</b> )	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必	要性あり	教育のみ	保育の 必要性あり	保育の必!	要性あり
利用見込量		1,355	1,029	773	91	1,340	1,027	766	90
確保方策計	12	<mark>1,472</mark>	<mark>1,176</mark>	<mark>693</mark>	153	<u>1,472</u>	<u>1,176</u>	<mark>693</mark>	153
特定教育・保 育(保育所・	市内	<mark>990</mark>	<mark>1,176</mark>	<u>564</u>	145	<mark>990</mark>	<u>1,176</u>	<u>564</u>	145
認定こども 園)	市外	61	0	Ο	Ο	61	0	0	Ο
円滑化の流	舌用	0	0	<u>112</u>	0	0	0	<u>112</u>	Ο
確認を受け	市内	0	0	0	0	0	0	0	0
ない幼稚園	市外	421	0	0	0	421	0	0	0
特定地域型保育	事業	0	0	13	6	0	0	13	6
企業主導型(地	域枠)	0	0	4	2	0	0	4	2
2-1	)	<u>117</u>	<u>147</u>	<u>∆80</u>	62	<u>132</u>	<u>149</u>	<u>∆73</u>	63